

自転車 の 定義

自転車は、法律で次のように定義されています。

自転車とは

「ペダル又はハンド・クラシクを用い、かつ、人の力により運転する二輪以上の車であって、身体障害者用の車いす、歩行補助車等及び小児用の車以外のもの」をいいます。

普通自転車

自転車のうち、「車体の大きさ及び構造が内閣府令で定める左記の基準に適合する二輪又は三輪の自転車で、他の車両を牽引していないもの」をいいます。一般に使用されている自転車 が該当し、歩道を走行することができます。

★自転車は、道路交通法上は「軽車両」です。違反をすると罰則が科せられます。

乗車人数

原則として運転者以外の人を乗せることはできません。

※ただし、次の場合は幼児を同乗させることができます。

【一般の自転車】

①16歳以上の運転者は、幼児用座席を設けた自転車に6歳未満の幼児を1人に限り乗車させることができます。

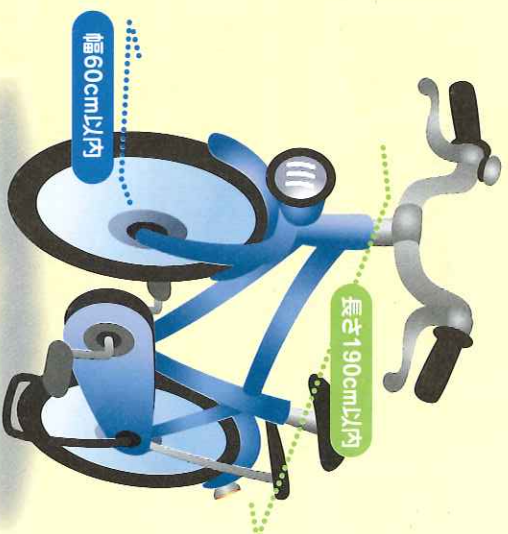
※さらに運転者は幼児1人を子守バベト等で背負って運転できます。



【幼児2人同乗用自転車】

②16歳以上の運転者は、幼児2人を同乗させることができる特別の構造又は装置を有する自転車（幼児2人同乗用自転車）に6歳未満の幼児を2人乗車させることができます。

※幼児2人を同乗させた場合、運転者は幼児を背負って運転することはできません。



●車体の大きさ

- ・長さ……190センチメートル以内
- ・幅……60センチメートル以内

●車体の構造

- ・側車をつけていないこと（補助輪は除く）
- ・運転席以外の乗車装置を備えていないこと（幼児用座席を除く）
- ・ブレーキが、走行中容易に操作できる位置にあること
- ・歩行者に危害を及ぼすおそれがある鋭利な突出部がないこと

乗ってはいけない自転車

次のいずれかに該当する自転車は、乗ることができません。

内閣府令で定める基準に適合するブレーキを備えていないため、交通の危険を生じるおそれのあるもの



基準

ブレーキは前輪及び後輪にかかり、時速10km/hのとき、3メートル以内の距離で停止させることができる。

夜間において、前照灯がつかず、また後部反射器材（又は尾灯）がないもの



基準

- 前照灯は、白色又は淡黄色で、夜間、前方10メートルの距離にある交通上の障害物を確認することができる光度を有するもの。
- 反射器材は、夜間、後方100メートルの距離から自動車の前照灯で照らして、その反射光を容易に確認できるもの。

× 禁止事項

傘差しや物を持つ等の運転の禁止



傘差しや物を持つ等の運転は危険です。また、傘を固定して運転することも危険です。カッパを着用しましょう。

★「傘さし運転等」5万円以下の罰金

「積載物大きさ制限違反」2万円以下の罰金又は科料

携帯電話使用運転の禁止



携帯電話で話しをしたり、メールをしながらの運転は危険です。

★5万円以下の罰金

二人乗りの禁止



原則として運転者以外の人を乗せることはできません。

★2万円以下の罰金又は科料

歩行者妨害の禁止



歩行者の通行を妨害してはいけません。

★2万円以下の罰金又は科料

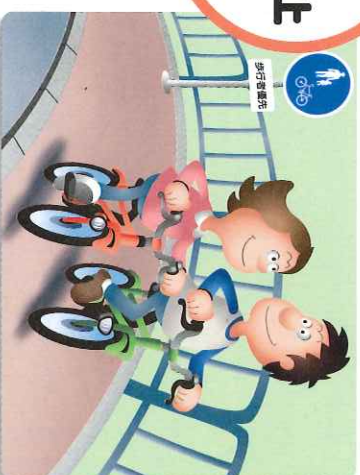
酒気を帯びての運転の禁止



酒気を帯びて自転車を運転してはいけません。

★5年以下の懲役又は100万円以下の罰金（酒酔いの場合）

並進の禁止



他の自転車と並進することはできません。

★2万円以下の罰金又は科料

※「並進可」の標識のある道路では2台までに限り並進できます。